

ど多岐にわたっている。また、ICT 教育部会など他の部会とも関連性をもって活動している。また、2020 年 1 月から始まった新型コロナウイルス感染症パンデミックにより、臨床実習前医学教育も大きな影響を受けており、with/post コロナを見据えた教育についても併せて検討している。

2. 第 21 期臨床実習前医学教育部会の目標

(1) 臨床実習前臨床実習、教養・基礎系実習

臨床実習前医学教育では early exposure、教養・基礎系実習、臨床技能教育などを扱っていく。令和 5 年度からは臨床実習前 OSCE が法制化されることが決定しており、early exposure を含む臨床実習前臨床教育の重要性が増してくると考えられ重要な課題である。

(2) 講義の水平・垂直統合

卒前医学教育カリキュラムにおいては、講義の水平・垂直統合は重要なテーマである。真の意味においての講義の水平・垂直統合について議論していく。

(3) 考える力を育成する臨床実習前医学教育

臨床実習前医学教育においては、一方向的な知識伝達型の講義ではなく、アクティブラーニ

ングを活用した双方向型の問題解決能力を育成する講義が求められている。with/post コロナを見据えた対面授業においては、特に重要な課題であり議論を深めていく。

(4) ICT 教育部会との協働 (ICT を活用した教育の内容)

With/post コロナを見据えた授業においては ICT を活用した授業は必須である。反転授業をはじめとした方略について ICT 教育部会と協働して検討していく。

3. 第 21 期臨床実習前医学教育部会の活動

Zoom を活用してオンラインでの部会を開催し議論を行なっている。また第 54 回日本医学教育学会大会では、部会主催のビデオシンポジウム「医学教育におけるこれからの対面授業のあり方を考える ―コロナ禍における様々な学びを経験して―」を開催した。

担当理事：泉 美貴、藤倉 輝道、部会長：西屋 克己、副部会長：守屋 利佳

部会員：白澤 文吾、増田 良太、高久 俊、古田 厚子、和田 健司、小林 直人、三木洋一郎、小田 康友

*1 Pre-Clinical Clerkship Medical Education Subcommittee

*2 Katsumi Nishiya

17. シミュレーション教育部会^{*1}

藤倉 輝道^{*2} (部会長・日本医科大学医学部医学教育センター)

今期、当部会では「シミュレーション医療教育の裾野を広げる」をテーマに活動を開始した。藤倉と石丸が担当理事ならびに正副部会長を務め、委員構成もこのテーマに基づき多様性を考慮した。卒前・卒後の医学教育、看護教育の領域はもちろん、With & Post コロナを意識した

ICT 活用、そして、機械工学を専門とされる方にもメンバーに入っていただいた。当部会の方向性は、第 53 回日本医学教育学会大会シンポジウムでもお示した。

わが国におけるシミュレーション医療教育の現状の課題としては、卒前教育での活用が